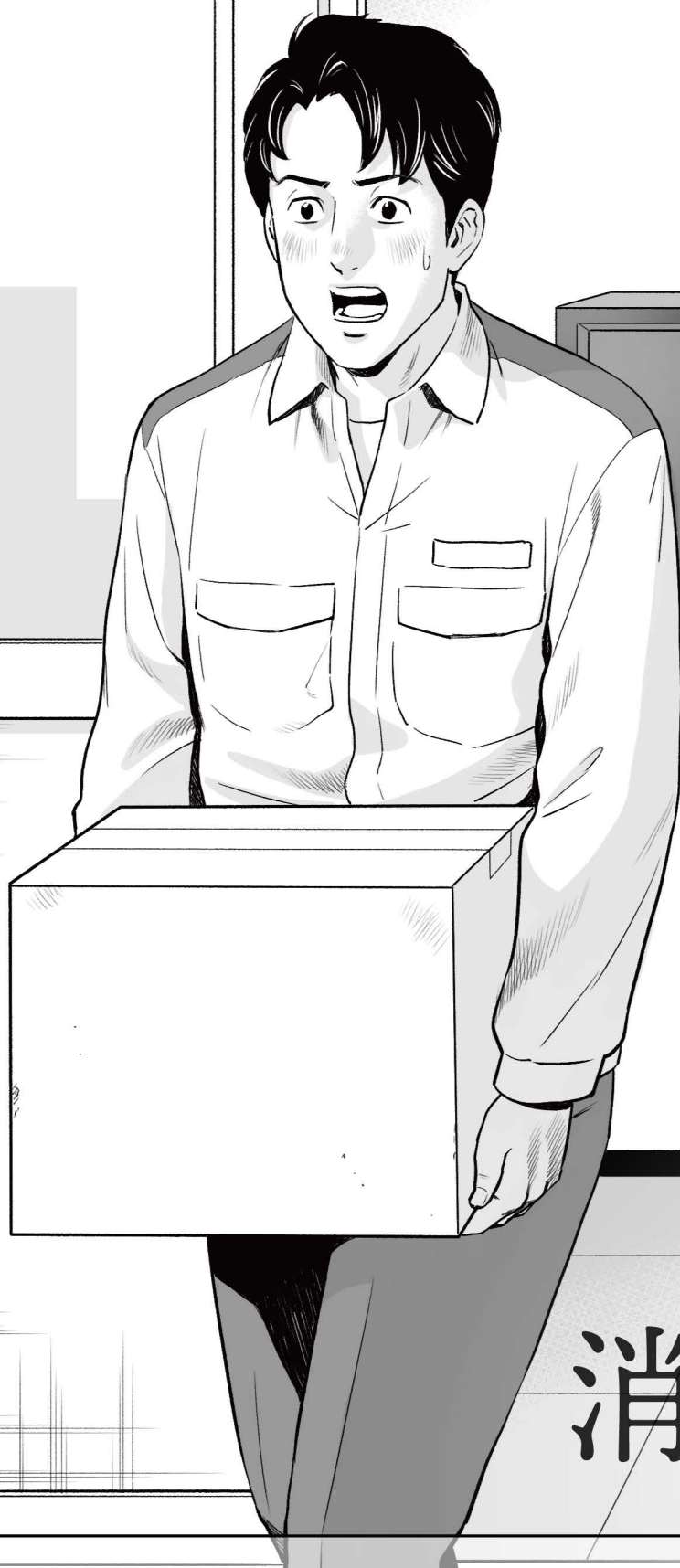


所長室



消えない灯 ともしび

関西電力
某火力発電所内

中之島さん！前は
本当にタイムスリップ
したっぽいですよ！

え？なに？
またあの夢の話？

あの事故の状況が
夢で見たのと
全く同じ
だったんですよ！

昨日当時のことを
色々調べて
わかったんです！

へえ西君が会社の
歴史を調べたんだ！
えらい！私の教育の
成果が表れたね

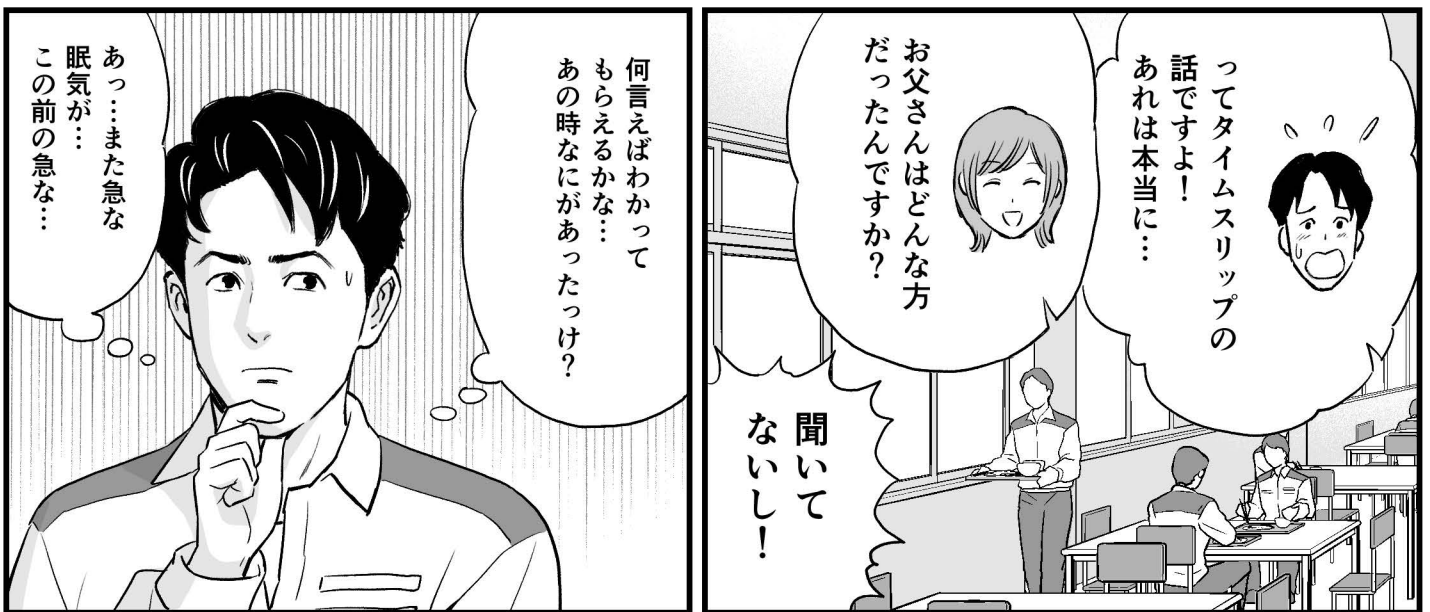
いやあ そういう
事じゃなくて…

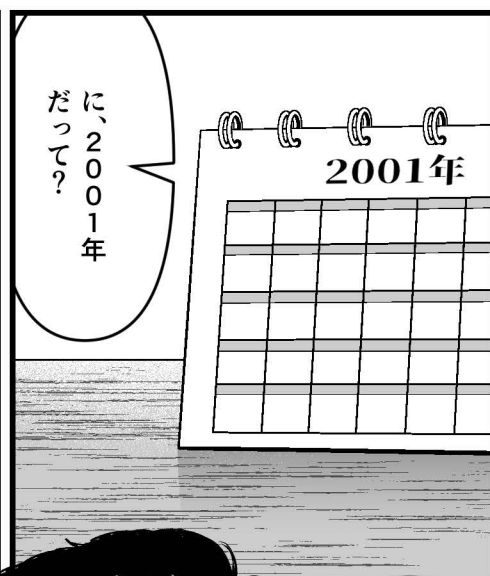
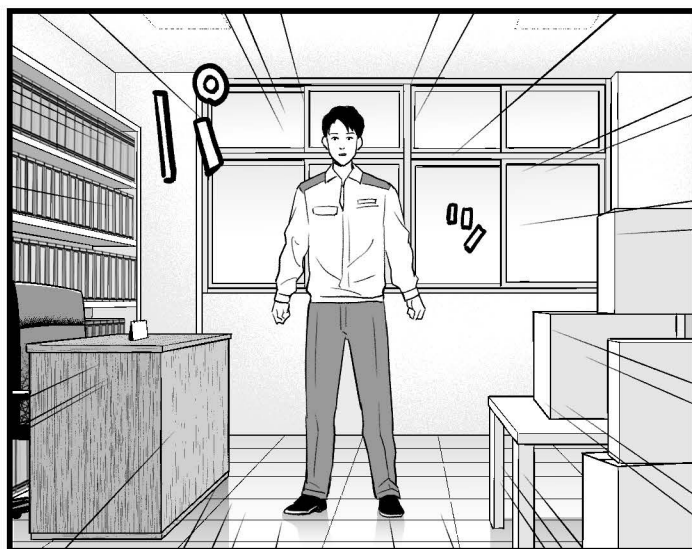
そういえば火神さんの
お父さんも会社
にいらしたんですね！

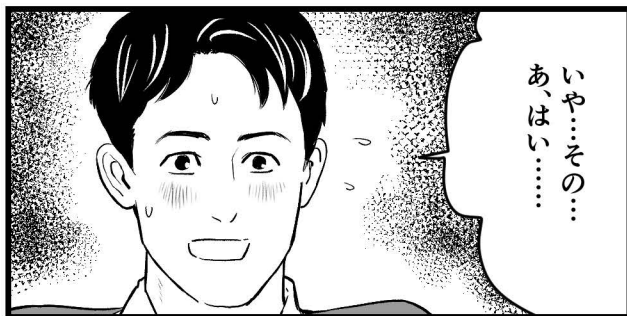
ああ、よく知ってるね
親子三代関西電力だよ

親子三代も！すごい！
お父さんはどこの
発電所を経験され
たんですか？

色々経験したらしいが
最後は大阪の
多奈川発電所だったよ







いや…その…
あ、はい……



マモさんの
お父さん
怖え~~~~~……



見たことがないがどこの所属だ？
もしかして君も廃止に不満が
あるのか？今後に不安があるのは
わかるがもう決まったことだ！

ギロリ



当時発電所長だった火神の父は、
一人部屋にこもって淡々と
無表情で業務をこなしていた

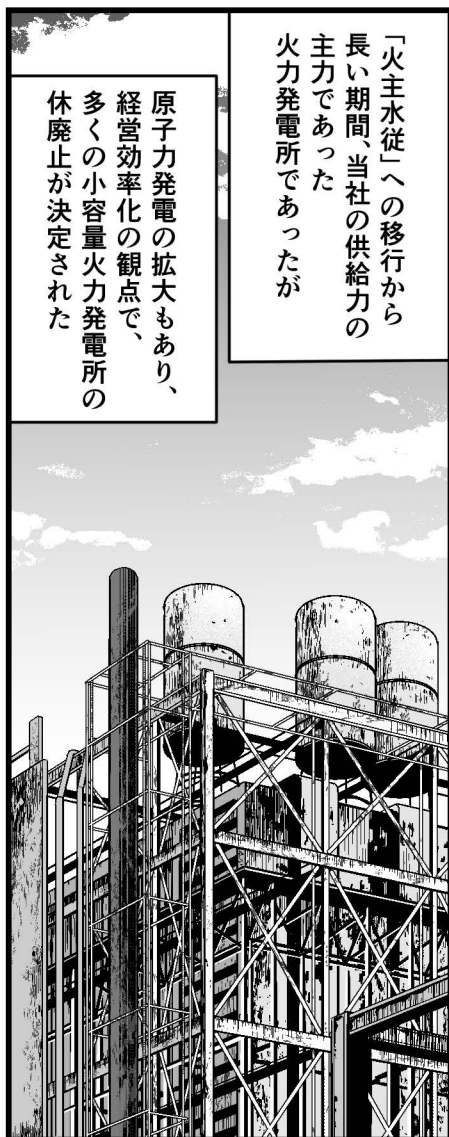


火力部門の従業員に
とっては大きな
不安を伴う
決定であった……

多くの火力の仲間を
他部門に異動配置
させるなど、



この発電所でも
多くの所員が今後
不安も感じながら
廃止に向けた作業を
行っていた。



「火主水従」への移行から
長い期間、当社の供給力の
主力であった
火力発電所であったが

原子力発電の拡大もあり、
経営効率化の観点で、
多くの小容量火力発電所の
休廃止が決定された





さっきのビデオを
見てるのか…

関西電力のみなさん！

この前は発電所を
見学させてくれて
ありがとうございました

とっても大きな機械や、
たくさんパイプがあつて、
最初はこわかったけど

電気がどうやって
作られるのかを見る
ことができて、
すごく楽しかったです

ぼくたちのために
いっしょうけんめい電気を
作ってくれてありがとう

発電所がなかったら、
ぼくたちの家に電気が
来ないんだって知りました

電気のおかげで、
テレビも見れるし、
暑い日もすずしいし、
楽しい毎日を送れるんだね

さいごに、僕が
将来ここではたらきたい
といったとき――

所長が
「待ってるからな！」

といってくれたのが
とてもうれしかったです

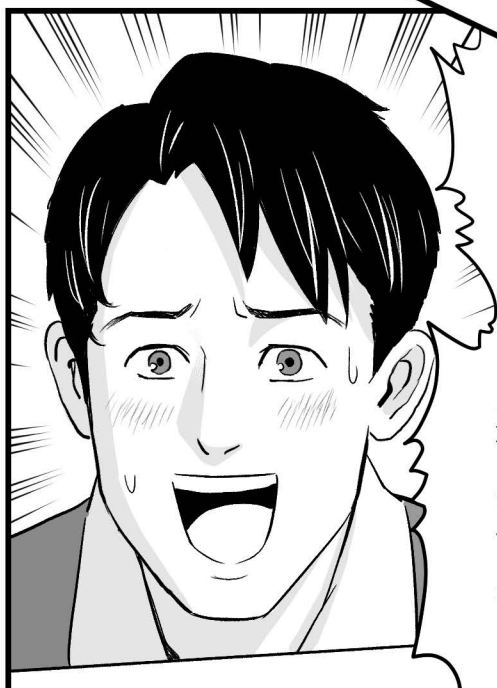


なんだまたお前か！
ノックもせずに黙って
入ってくるやつがいるか！！

す、すみません！

でも…ですよね！
やっぱり電力に対して
人一倍熱い使命感を持って
るんですよ！

冷酷なわけがない！
それでこそマモさんのお父さんですよね！





廃止は残念ではあるが…
この発電所を立派に
卒業させてやるのが
俺たちの仕事だ！

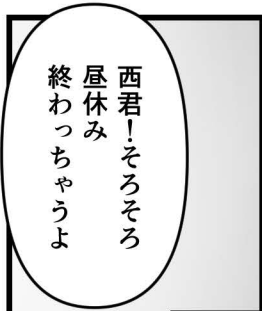
この発電所はしっかり
役割を果たしたんだ
この地域にも貢献した



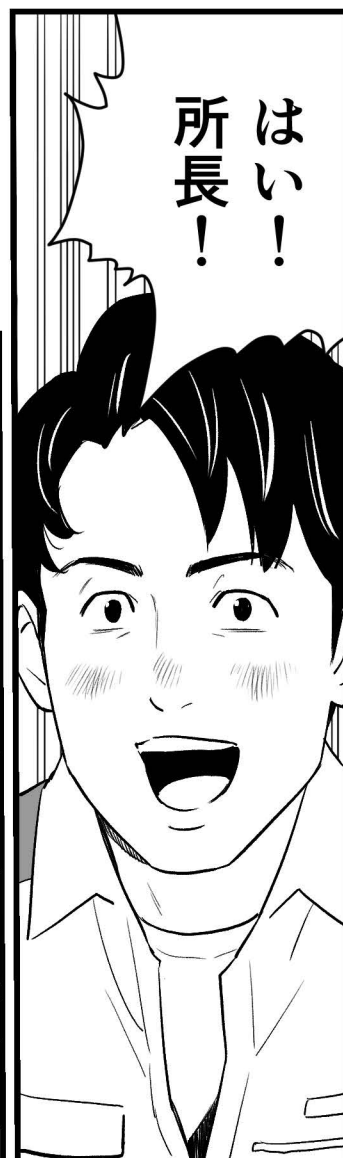
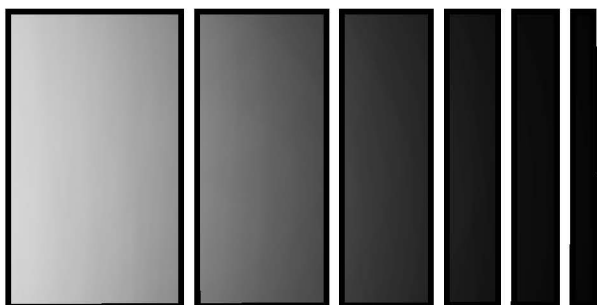
見ていたのか…
ふっ



冷酷だろうが
何だろうが
関係ない



西君！そろそろ
昼休み
終わっちゃうよ

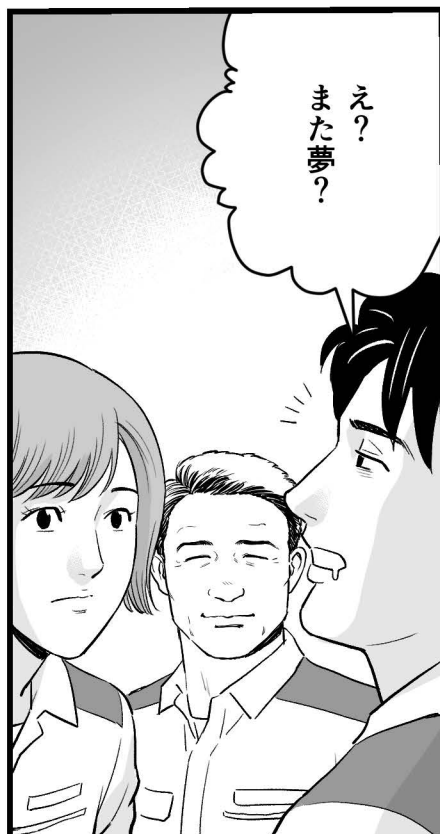


はい！
所長！

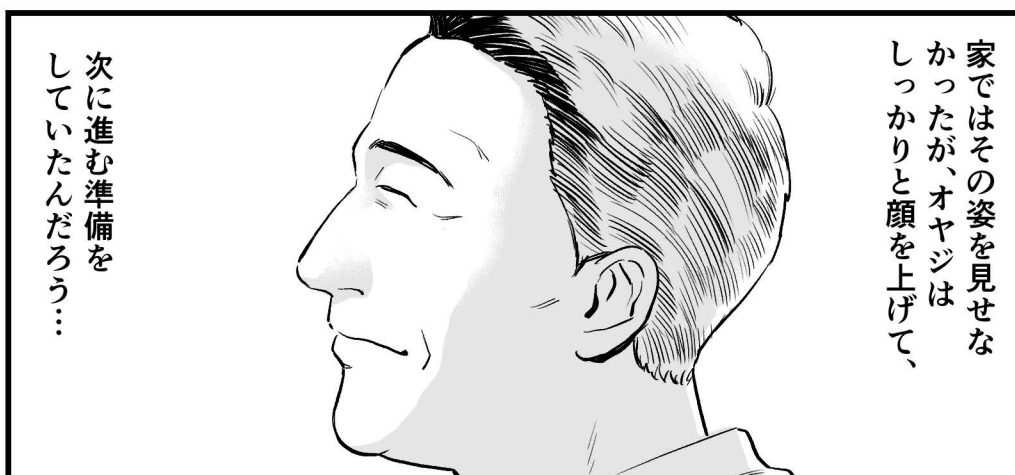
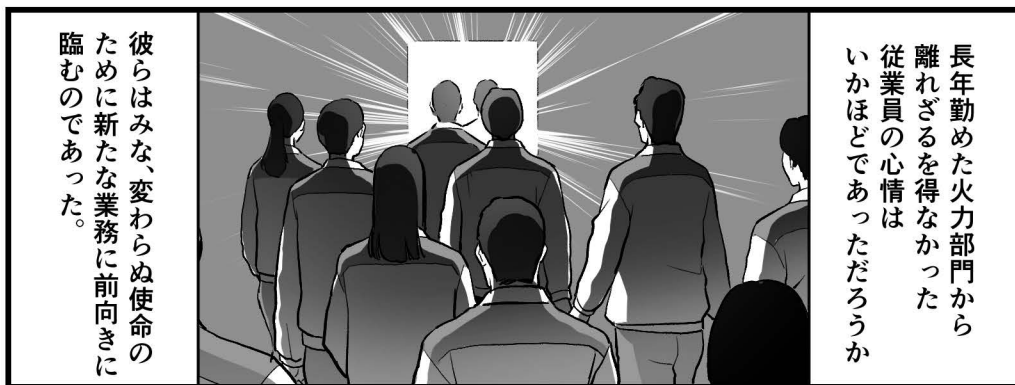


こ、今度はマモさんのお父さんに会いました！
廃止間際の多奈川発電所で
所長をやっていた
淡々と荷物整理を…

またタイムスリップした
夢の話？
疲れてるんじゃないの？



え？
また夢？



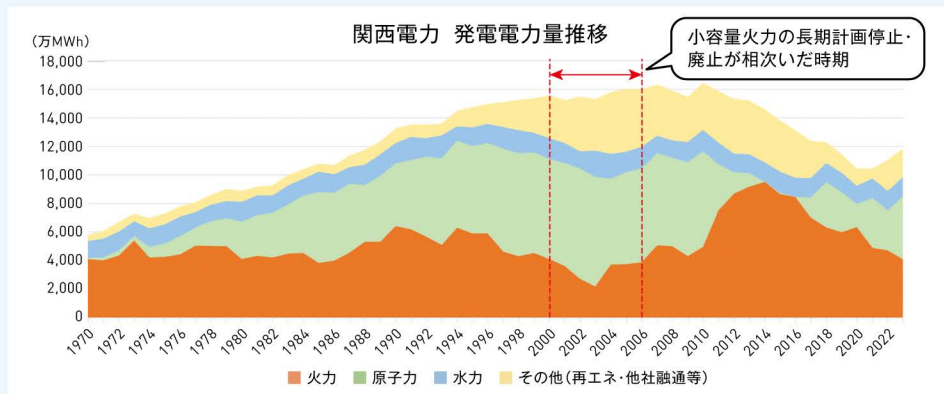
小容量火力発電所の 長期計画停止・廃止の概要

背景

1995年の電気事業法改正以降、電力自由化による本格的な競争時代を迎えていた。このような情勢変化を受け、火力発電所もベース・中間・ピーク供給力を担う電源から、中間・ピーク供給力にシフトする役割が変化してきた。その役割変化に伴うさらなる発電コストの低減のためには、小容量火力発電所の稼働率はそれ以降さらに低下することが見込まれた。

発電所の 長期計画停止・ 廃止

・1999年3月、要員の適正配置と発電コストの低減をねらいとして、小容量火力(単機出力66MW~156 MW)の長期計画停止および廃止を決定。長期計画停止した小容量火力発電所については、その後も電力需要の伸びが期待できない状況が続いたため、2001年度以降順次廃止することとなった。



・2000年~2006年の7年間に、長期計画停止または廃止された発電所は、14発電所33機、出力合計9,096MWに上る。

火力部門要員の 配置転換

・火力部門要員については、火力部門としての必要所要人数の減少を受け、他部門への配置転換が行われた。この配置転換は、1999年から2003年頃までの間で、約700名を超える火力部門要員を他部門へ異動させるというもので、火力部門要員としては慣れ親しんだ部門を離れ、新たな職場での活躍が求められた大きな変革であった。

長期計画停止・廃止となった火力発電所一覧

発電所	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
姫路第一	▽4月1日 1号~4号長期計画停止	▼6月30日 1号~4号廃止					
多奈川	▽1979年3月 1,2号長期計画停止	▽2月1日 3,4号長期計画停止	▼12月15日 1号~4号廃止				
大阪	▽4月1日 3号長期計画停止	▽2月1日 2号長期計画停止		▽4月1日 4号長期計画停止	▼12月25日 1号~4号廃止		
尼崎第三	▽4月1日 1,2号長期計画停止	▽10月1日 3号長期計画停止	▼12月15日 1号~3号廃止				
春日出	▽4月1日 2号長期計画停止	▽10月1日 1号長期計画停止	▼12月15日 1,2号廃止				
尼崎東	▽4月1日 1,2号長期計画停止		▼12月15日 1,2号廃止				
三宝		▽4月1日 1号長期計画停止		▼3月31日 1号廃止			
海南		▽4月1日 2,4号長期計画停止	▽10月1日 1号長期計画停止				
高砂		▽4月1日 2号長期計画停止	▽4月1日 1号長期計画停止				▼4月20日 1,2号廃止
多奈川第二						▽4月1日 1,2号長期計画停止	
相生		▽4月1日 2,3号長期計画停止					
御坊		▽4月1日 2号長期計画停止					
赤穂		▽4月1日 1号長期計画停止					
宮津エネ研		▽4月1日 1号長期計画停止			▽4月1日 2号長期計画停止		